

環境コミュニケーション

工場の周辺を美しく

当社の各工場では周辺の清掃など「環境美化活動」に積極的に取り組んでいます。泉北工場が加入している「泉大津商工会議所泉北4区懇話会」では、泉大津市生活環境課の協力を得て、年に1度一斉清掃を実施しています。2000年は9月18日に行われました。「泉北4区は、みんなで美しくしよう」をテーマに、4区内の企業が社員を派遣していますが、泉北工場からは20名が参加しました。この日は午後3時より清掃をスタート。事業所敷地周辺や道路上、そしてドラム缶プランター（ドラム缶を廃物利用したプランターで、木、花などを植えて、歩道脇に設置）内などのごみ集めを行いました。集めたごみは、燃える物・燃えない物に分別し、さらにビン類・缶類を分別。最後は袋詰めを行い、4カ所の収集場所にまとめて泉大津市に回収していただきました。



当社からは20名が参加

インドネシア・ジャワ島の「子供の森」計画

当社では財団法人オイスカを通じてインドネシア・ジャワ島の植林活動を支援しています。植林は1999年10月からジャワ島の23の小学校やリハビリセンターで実施されていますが、植林本数は総計5,943本に、植林面積は全体で8.16ヘクタールにおよんでいます。「ヤクムリハビリセンター」での植林作業には、生徒や先生、近くに住む村人、そしてリハビリのためセンターに短期滞在していた方まで総勢79名が参加して行われました。当社では、このように子供たち自身も参加でき、森林資源の大切さについて学習できるシステムを大切にしたいと思っています。今後も植林支援を継続実施することで緑化活動に貢献していきたいと考えています。



インドネシア・ジャワ島の植林活動

エコロベース初試合開催

エコロベースは使用する用具やユニフォーム、そしてルールにいたるまで環境問題を意識して開発されたスポーツです。ゲームの基本は野球ですが、用具の材料に工夫がこらされています。廃棄処分の難しい金属や成長に時間のかかる木材を使用したバットと異なり、エコロベースのバットは竹製。竹は3~5年で成長します。ミットのフレームも竹で、ボールを受け止める部分はペットボトルの再生繊維でできています。ユニフォームの原材料も同様です。ルールの基本は「やさしく、安全重視」で、ピッチャーはアンダースローでしか投げません。小学生からシルバー世代まで男女を問わず参加できるスポーツです。2000年度大阪・南港で開催された本社ソフトボール大会では、休憩時間を利用して、エコロベースの初試合が行われました。参加メンバーはこれまで軽い練習経験しかなかったため、開始当初にはとまどう光景もみられたのですが、試合が進行するにつれ、和気あいあいとしたムードになりました。今後もさらに試合を開催していく予定です。



エコロベース初試合

愛称は「ささら」に決定

当社の環境マスコットとして、これまで様々な環境イベントの展示パネルなどに登場してきたカッパのイラストです。愛称を社内で一般公募したところ約80件の応募があり、選考の結果「ささら」に決定しました。



環境マスコット「ささら」